

事務事業 No./名称	■サービス部門 こども-10 私立保育所等入所事業				タイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				68	私立保育所運営補助事業	
主管課	保育課	関連課		1325	私立保育所運営補助事業		
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	地域の子育て支援を行なう 待機児童0人						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日(住民基本台帳) ・対象者数=各年3月1日現在 私立入所児童数			
	人口	176,669人	176,484人				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	894,807千円	852,242千円		指標と評価		
	(国・県)	347,693千円	333,776千円				
	(負担金等)	364,421千円	353,565千円		指標	待機児童数(各年度3月1日現在・私立保育園分)	
	(一般財源)	182,693千円	164,901千円		評価	○	
	人員配置数	3.0人	3.0人		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人件費	26,904千円	27,213千円			目標値	実績値
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	921,711千円	879,455千円	20年度	10	30	
	市民1人当りの経費	5,217円	4,983円	21年度	10	68	
	対象者1人当りの経費	880,335円	1,015,537円	22年度	5		
ベンチマーク (県内外自治体や民間 団体との比較値)	団体名			23年度			
				最終年度 (年度)			
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 待機児童解消を目指しているが、むしろ増加傾向にある。更なる工夫、取り組みが必要。					
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 待機児童対策として定員を超えた弾力的な運用による入所児童の受入れ。保育所最低基準を遵守しつつ、保育士の弾力的配置等により、私立保育所定員合計932人のところ、平成21年度3月時点では1,047人の入所があった。					
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 待機児童の解消					
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 認定こども園の活用や認定保育施設の認可化、玉縄地域における子育て支援施設の整備計画を策定しながら入所枠の拡大を図る。待機児童の解消に向けて、私立保育所の定員増や分園設置に取り組んでいく。また、家庭的保育事業制度の更なる活用については、国が作成したガイドラインを参考にし、多様化する保育ニーズに対応していく。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	待機児童解消のために各園において、弾力的な運用による児童の受入れを行なっているが、それ以上に保育需要が年々増していることから、待機児童が増加している。本事業としては、今後も施設整備や認定こども園の活用など、他の施策と併せて検討していくことが必要である。			評価結果	改善の必要性	待機児童解消への取り組みを推進することが、結果的に潜在していた保育需要を喚起することになっており、目標値である待機児童解消の達成に向け、更なる努力を要する。待機児童解消に向けて、保育の提供手段の多様化を図っていくなどの対応が必要がある。
A	有				A	有	
課長名		保育課長 進藤 勝			部名・部長名		こどもみらい部 佐藤 尚之